

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(70)番 福山市能登原小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	確かに身に付いた知識	表現力	主体性	共感力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	○関連性、発展性と有用感のある知識 ・身に付けた知識が、問題解決の際に活用することができる。 ・身に付けた知識が、どのように今後の学習へ発展していくか考えることができる。	○相手意識を持って、自分の考えを分かりやすく述べることができる。 ・自分の思いを大勢の前でも堂々と述べる。 ・比べたり、まとめたりして考えたことを要点をしぼって述べる。 ・「まとめていうと〜。」	○まわりのことを考え、見通しを持って進んで取り組んでいる。 ・自分の役割以外の仕事(学級委員や行事の役割、手伝い)にも積極的に取り組んでいる。 ・自分達で何をすべきか考えて行動している。	○人を思いやり、進んで人のために行動している。 ・がんばっている友達を支えたり、応援したりしている。 ・下級生の世話を進んでいる。 ・友達のことを考えて注意する。

2 授業の現状

- ・思考ツールの活用により主体的な関わり合いが生まれることで、意見を活発に交流させることができた。
- ・既習事項の掲示により、学習のつながりを意識させることができた。
- ・身に付けた知識・技能を定着させ、使いこなすことに課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

思考ツールの活用により、対話を仕組み、児童が主体的に関わり合う中で、物の見方・考え方を身につけるとともに、知識・技能の定着を図る授業。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な学びを促す、興味関心を高める導入発問・活動の工夫をする。 ・「思考ツール」を活動に取り入れこことで、情報の整理を可視化し、次につながる知識・技能の習得を図る。 					

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) ()は県平均との差

	A問題	B問題		
国語	64.0(-9.0)	43.0(-16.0)	自分にはよいところがある	72.7(-14.1)
算数	57.0(-9.0)	44.0(-10.0)	先生はよいところを認めてくれる	72.7(-13.9)
理科	49.0(-14.0)		将来の夢や目標を持っている	72.7(-15.7)
			人の役に立つ人間になりたい	100(+4.8)

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%)

学校へ行くのは楽しい	75(-14.3)
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	100(+20.5)
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	100(+18.5)
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	100(+19.9)

暴力行為発生率・不登校児童出現率(%) (3)月末現在

暴力行為	0	不登校	0
------	---	-----	---

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) /40			
(女子) /48			
目標値			

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	62.5	0
仕事に充実感がある	62.5	0

児童生徒アンケート(%) (1)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	75.0	25.0
自分の考えは、認められている	70.0	30.0